

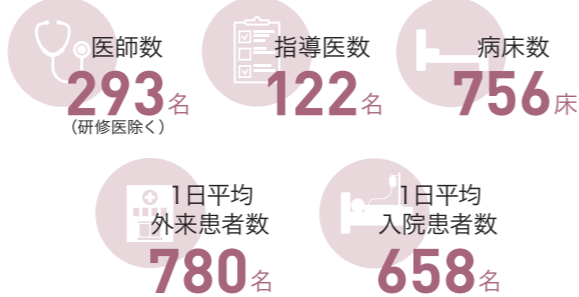


- ▶ 研修医数 1年目 10名、2年目 14名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 41名
- ▶ 研修医の主な出身大学

秋田大学、山形大学、群馬大学、埼玉医科大学、順天堂大学、東京慈恵会医科大学、横浜市立大学、信州大学、山口大学、大分大学、大連医科大学、弘前大学、東海大学、福井大学、岐阜大学、獨協医科大学

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

脳脊髄腫瘍科、小児腫瘍科、小児外科、造血管腫瘍科、婦人科腫瘍科、泌尿器腫瘍科、乳腺腫瘍科、皮膚腫瘍科、骨軟部組織腫瘍科、頭頸部腫瘍科、形成外科、支持医療科、精神腫瘍科、放射線腫瘍科、病理診断科、腫瘍内科・消化器腫瘍科、消化器内視鏡科、上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科、呼吸器内科、呼吸器外科、心臓内科、不整脈科、心臓血管外科、小児心臓外科、小児心臓科、救命救急科、地域医療科、脳卒中内科、脳卒中外科、脳血管内治療科、画像診断科、核医学科、リハビリテーション科、麻酔科、集中治療科

■ 主な認定施設

JCI 認定施設、日本医療機能評価機構認定病院、心臓移植実施施設、がん診療連携拠点病院、埼玉県災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院 他

研修プログラムの特色

優れた人材と豊富な医療資源に裏打ちされた高度専門医療機関で、全国屈指の手術件数、豊富な症例数を活かし、将来ジェネラリストとしても、エキスパートとしても活躍できる医師を育てます。研修医のうちから他の病院では対応できない困難な疾患や症例に対して「どのような検査・治療がベストか」を学ぶことができます。また、地域の特性から埼玉県西部の医療を広く担っており、専門性の高い疾患以外にも多くの Common Disease を経験できます。最先端の放射線治療機器 (MR リニアック) を備えた最大級の外来化学療法センターを稼働させ、さらに心臓病手術にも適応のあるロボット支援外科手術、ダビンチ、センハンスの 2 タイプのロボットを設置するなど、常に進化をしています。3つのプログラムすべてで埼玉医科大学に限らず、連携する施設の診療科を自由に研修でき、それぞれの病院のストロングポイントを「いいとこ取り」できるお得満載のプログラムです。

- ・ 3 病院自由選択プログラム：将来像にあわせて研修医が自由に診療科を選べる。
- ・ 特設外科系プログラム：最短で外科専門医を取得できるよう、適切な判断ができる外科系医師を育成する。
- ・ 研究マインド育成自由選択プログラム：臨床研修と大学院を同時に学び、卒業 4 年目または 5 年目終了時に学位を取得する。

プログラム例 埼玉医科大学3病院自由選択プログラム / 募集定員: 12名

	1-4 週	5-8 週	9-12 週	13-16 週	17-20 週	21-24 週	25-28 週	29-32 週	33-36 週	37-40 週	41-44 週	45-48 週	49-52 週
1年目	導入			内科				救急		産婦人科	小児科	外科	
2年目	精神科		自由		地域医療					自由			

必修研修: 内科24週、外科4週、産婦人科4週、小児科4週、救急12週(当院救命救急科4週必須。救急8週+麻酔科4週の組み合わせ可)、地域医療8週(一般外来4週含む)
自由選択: 自由選択44週。当院および協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設から研修医自身で選択。
その他: 埼玉医科大学国際医療センター特設外科系プログラム(定員2名)、埼玉医科大学国際医療センター研究マインド育成自由選択プログラム(定員2名)

■ 研修医の処遇

給与	36万円/月(基本給25万円、諸手当、賞与含む平均月額給与)	勤務時間	原則、8時30分~17時30分
賞与	前年度実績50万円/年	当直	あり: 4回/月(診療科により、多少異なります)
諸手当	日・当直手当、時間外手当、通勤手当、住宅手当、扶養手当	休暇	9回/月(変形労働時間制) 有給休暇(1年目: 10日、2年目: 11日)
保険	日本私立学校振興・共済事業団(健康保険、年金)、雇用保険、労災保険、医師賠償保険(個人加入)	宿舍	あり(月額2万円: 補助あり。光熱水費、駐車場代、リネンサービス込)
		その他	研修医室、研修医講義室あり。白衣貸与(クリーニングは病院負担)

【協力型臨床研修病院】

- 相澤病院
- 国立病院機構埼玉病院
- さいたま市立病院
- さいたま市民医療センター
- 新久喜総合病院
- 太田記念病院
- 足利赤十字病院
- 横浜市立市民病院 他

【研修協力施設】

- 宮古島徳洲会病院 (沖縄県)
- たんぼぼクリニック (愛媛県) 他

■ 当院の魅力

大学病院と市中病院の「いいとこどり」ができる!

埼玉県西部を中心に埼玉県全域を守備範囲とする「がん・心臓病・脳卒中・救急」に強い病院です。1年目から埼玉医科大学病院、埼玉医科大学総合医療センターを含む17の協力型臨床研修病院を研修できるため学べない分野が一切なく、さらに「大学病院」「市中病院」それぞれの良さを実感できると研修医に好評です。

当院での研修は最短9ヶ月でも可能(但し、地域医療研修を3ヶ月行う必要あり)なので、いろいろな施設でその施設の得意な分野の研修を積みたい人にはお勧めです。

また、毎週水曜日にはランチオンセミナーを実施している他、ローテーション変更にも柔軟に対応します。2年間の研修終了後の海外留学制度も好評で、毎年留学しています。



女性医師支援

産前・産後並びに育児休暇取得後、一定の育児期間中は当直の免除や短時間勤務など柔軟に働くことが可能です。

また、院内託児所も整備されており、子供を預けながら臨床業務や研究に集中して取り組むことができます。

さらに、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で女性医師就業継続支援窓口(医療人育成支援センター内)を設け、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報等の提供を行っています。研修医の婦人科受診サポート体制があります。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学は随時可能です。臨床研修センターホームページより見学申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、見学希望日の2週間前までに臨床研修センターへE-mail(添付)でお申し込みください。見学希望日2週間前を過ぎた場合は、臨床研修センターへ電話してください。



連絡先

病院名 埼玉医科大学国際医療センター
所属 臨床研修センター
住所 〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1
TEL 042-984-0079(直通)
FAX 042-984-0594(直通)

E-mail imckensh@saitama-med.ac.jp
URL https://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/kenshu/
アクセス JR川越線・八高線 高麗川駅(路線バス約10分) 東武越生線 東毛呂駅(路線バス約15分)

研修責任者からメッセージ

研修管理委員長
林 健



当院は、がん・心臓病・脳卒中を含む救命救急の診療に特に力を入れており、全国屈指の症例数と高度医療の提供を行っております。ICU/HCUが96床あることからわかるように、重症患者が多く、初期研修で特に重要な重症患者の全身管理を学ぶのに適した環境にあります。また、救急の応需率はほぼ100%で、断らない救急を経験して力をつけるのにぴったりです。

高度な医療を経験するとともに、多くの施設と協力して Common Disease を経験する場も十分確保しています。病院全体が研修医を育てて行こうという空気に満ちています。

国際水準の高度医療を提供する、いわば「世界を知る病院」です。若い時からこのような施設で研修することは、そのキャリアに必ず役に立つと思います。専門医取得からその先、さらに海外留学等まで見据えて育てていきます。当院に是非いらしてください。

先輩研修医の声

研修医 2年目

小豆原 夏樹



当院の研修の魅力は、研修医と指導医の距離が近い点だと思います。研修をしていると自分で判断がつかない、相談したい場面にたびたび遭遇しますが、指導医の先生をはじめ、コ・メディカルの方々まで丁寧に指導して下さいます。加えて症例数が多いため、研修医として習得すべき手技はもちろん、たくさん手術に入らせていただけるのも魅力です。さまざまな方々のサポートを頂戴しながら、充実した日々を過ごせていると感じています。

研修医 2年目

三上 恵美



当院は、がん・心臓・脳卒中・救急を中心に、他では研修医が経験できないような専門性の高い疾患から Common Disease まで幅広く症例を学ぶことができます。指導体制も整っているため、研修医の経験と力量に応じて、早い段階から多くの手技が経験できるのも特徴です。学閥がなく、他大学(海外の大学含む)出身でも温かく迎えてくださるので、どの診療科でも充実した研修ができます。敷地内にある研修医寮は家賃補助があるため、実質無料! 静脈認証、管理人24時間常駐なので安心して生活できます。